

1 人のアテンダント コンソール ユーザから別のアテンダント コンソール ユーザへの短縮ダイヤル コピーの設定例

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[1 人のアテンダント コンソール ユーザから別のアテンダント コンソール ユーザへの短縮ダイヤルのコピー](#)

[最初のユーザからの短縮ダイヤルの取得](#)

[2 番目のユーザへの短縮ダイヤルのコピー](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

スピードダイヤル エントリを使用すると、迅速なコールの発信、コールの転送、コンサルト（監視付き）転送、およびスピードダイヤル エントリに関連付けられた個人との会議を開始できます。スピードダイヤル エントリには、ダイヤルグループに追加したユーザの名前、電話番号、およびメモが含まれます。

ある状況では、複数のアテンダント コンソール クライアントが同じ短縮ダイヤル設定を使用する場合があります。その場合、1 人の既存ユーザから、同じ短縮ダイヤルを使用する他のユーザに、短縮ダイヤルをコピーできます。したがって、手動で各ユーザの短縮ダイヤルを設定する必要はありません。このドキュメントでは、DC ディレクトリの使用時に、異なるアテンダント コンソール ユーザ間で短縮ダイヤルをコピーする方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントでは、DC ディレクトリを実行することを前提としています。Active Directory を実行する場合は、ドキュメントで説明されている方法を使用して、ユーザから他のユーザに短縮ダイヤルをコピーすることはできません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco CallManager 3.x および 4.x
- Cisco CallManager アテンダント コンソール 1.x 以降

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

1 人のアテンダント コンソール ユーザから別のアテンダント コンソール ユーザへの短縮ダイヤルのコピー

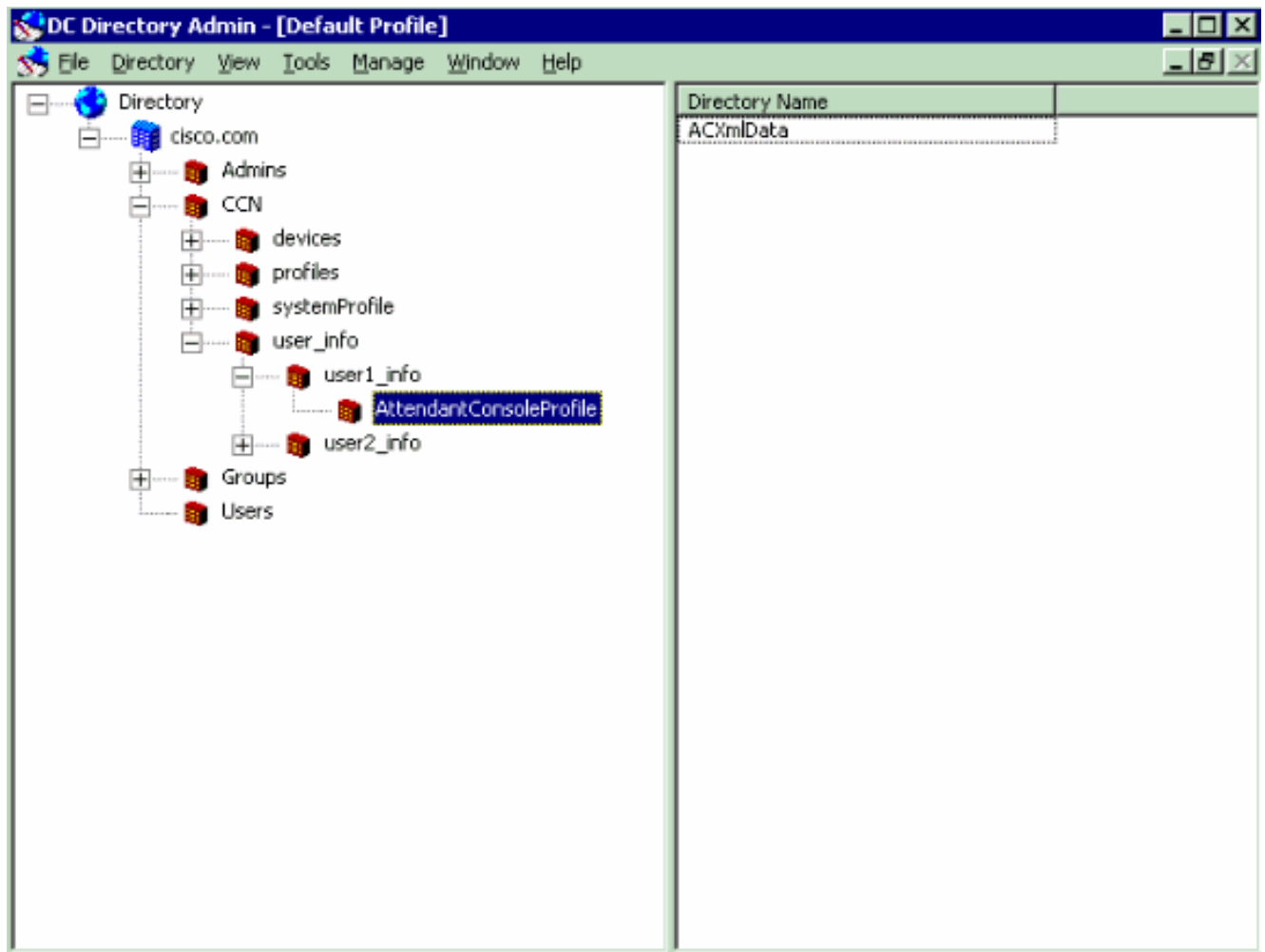
1 人のアテンダント コンソール ユーザから別のユーザに短縮ダイヤルをコピーするには、次の手順を実行する必要があります。

1. [最初のユーザ（短縮ダイヤルのコピー元となるユーザ、たとえば user1）から短縮ダイヤルを取得します。](#)
2. [短縮ダイヤルを 2 番目のユーザ（短縮ダイヤルのコピー先のユーザ、例えば user2）にコピーします。](#)

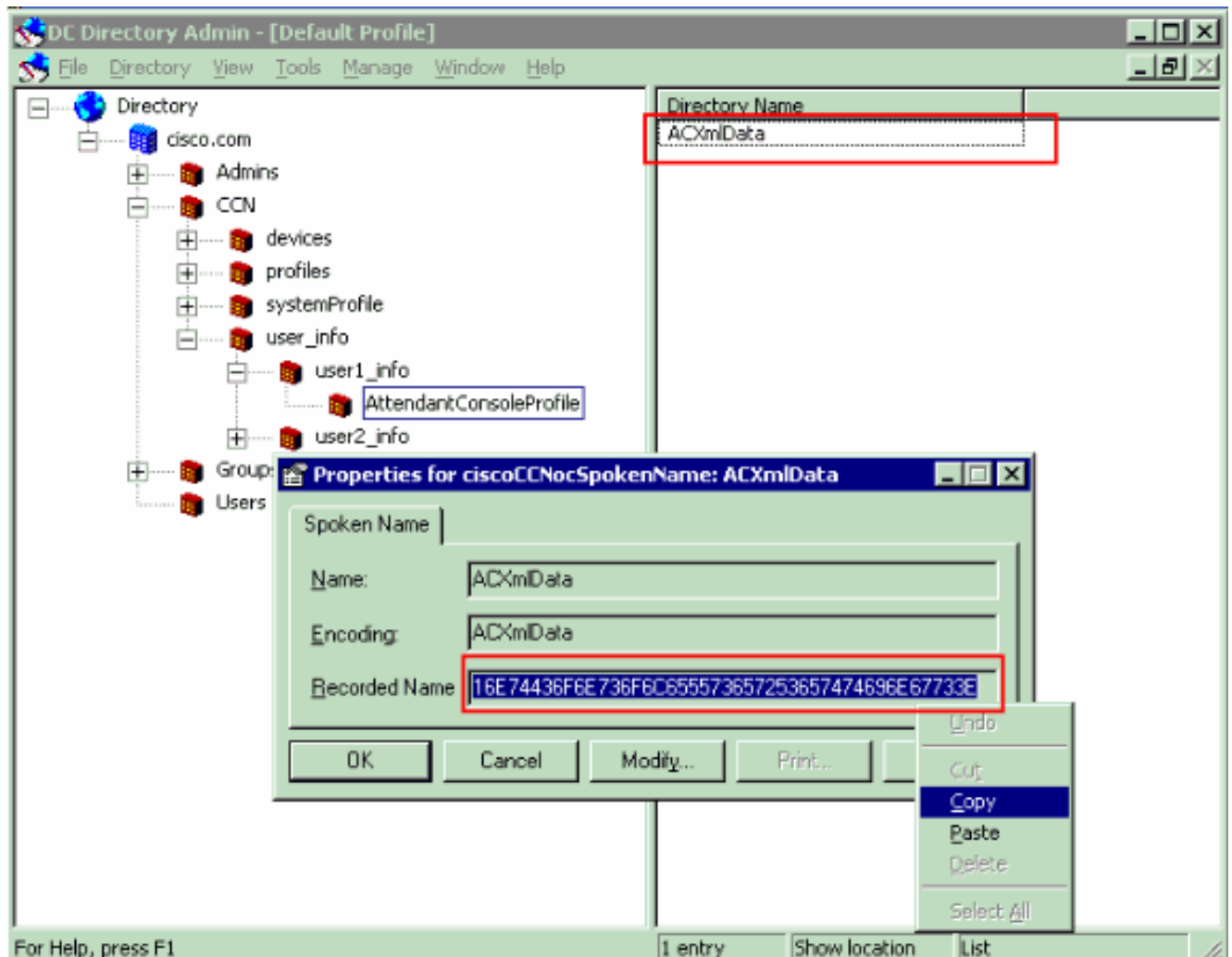
最初のユーザからの短縮ダイヤルの取得

user1 から短縮ダイヤルを取得するには、次の手順を実行します。

1. [Start] > [Programs] > [DC Directory Administrator] を選択し、DC Directory Admin に移動します。
2. [Administration] フォルダで [Directory] > [cisco.com] > [CCN] > [user_info] > [< user1>_info] を展開します。
3. [AttendantConsoleProfile] を強調表示します。



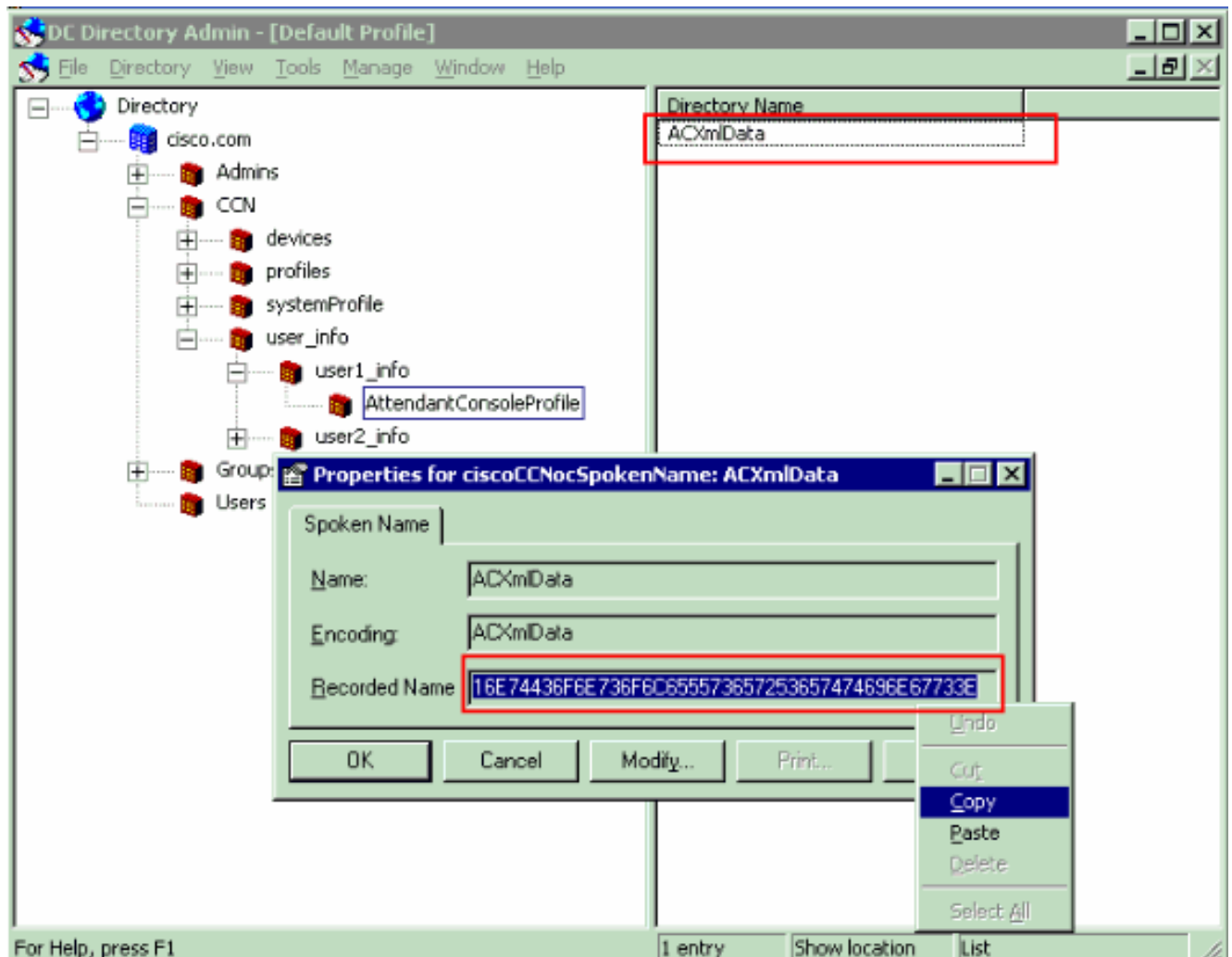
4. 右側のウィンドウ フレームにある [ACXmlData] をダブルクリックします。
5. [Recorded Name] フィールドにデータがあるかを確認します。これは暗号化フォーマットの短縮ダイヤルです。ただし、他のアテンダントの [Recorded Name] フィールドにコピーできます。右クリックして [Copy] 操作を実行します。



2 番目のユーザへの短縮ダイヤルのコピー

user2 に短縮ダイヤルをコピーするには、次の手順を実行します。

1. [Start] > [Programs] > [DC Directory Administrator] を選択し、DC Directory Admin に移動します。
2. [Directory] > [cisco.com] > [CCN] > [User_info] > [<user2>_info] を展開します。
3. [AttendantConsoleProfile] エントリを探します。右側のウィンドウフレームにある [ACXmIData] をダブルクリックします。
4. [Modify] をクリックし、前述の手順でコピーした短縮ダイヤルを [ACXmIData] フィールドに貼り付けます。[Apply]、次に [OK] をクリックします。



これらの2つの手順を完了したら、user1の短縮ダイヤルはuser2にコピーされます。

確認

短縮ダイヤルがuser1からuser2にコピーされたことを確認するには、アテンダントPCのuser1およびuser2にログインし、[Speed Dials]ウィンドウで両方が同じ番号になっているかを確認します。

トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

関連情報

- [スピードダイヤルウィンドウの使用](#)
- [Cisco CallManager アテンダント コンソール](#)
- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)